

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会会長賞

「一人の命を救った税金」

足立区立 第四中学校

三年 原田 夢

「モノソミーセブン」という病名を聞いたことはありますか？恐らくほとんどの人が聞いたことのない病名だと思います。この病気は、急性骨髄性白血病という血液のがんです。白血病は一人に一人、急性骨髄性白血病は十万人に一人と言われており、モノソミーセブンは百万人に一人と言われている病気です。私の弟が四歳の時、体調が悪く、病院に行って検査をしたところ、モノソミーセブンであることが分かり、半年以上家に帰ってくることはできませんでした。白血病は抗がん剤治療で治る事例もありますが、弟の場合、抗がん剤治療もして、骨髄移植もしなければいけないというとてもハイリスクなものでした。弟の病気の検査費や治療費、薬代がいくらかかるのか調べてみると、私達家族が今までと同じ生活を送ることはとても困難だと思いました。しかし、今までと同じ生活を送ることができたので、不思議に思い、母に聞いてみたところ、税金によって検査費や治療費、薬代が無償化だということを知りました。私は今まで税金について興味を持ったことがなく、知識もほとんどありませんでした。ですが、母からこのことを聞いて、税金の種類や使い道について詳しく知りたくなり、調べてみました。消費税は一番身近で私もよく知ってい

る税金です。他にも法人税や自動車税などおよそ五十種類の税金があることが分かりました。使い道については、学校や図書館などの公共施設などに使われているようで、私はよく図書館を利用するので、感謝の気持ちを忘れずに利用したいです。又、日本に住んでいる私達にとっては救急車を利用する際、お金を払わないことが当たり前ですが、海外の一部の国ではお金を払うことを知り、とても驚きました。税金は私達の生活とほとんど関係のないものだと思っていました。が、学校で使う教科書や普段よく利用する図書館など、税金と私達の生活は深く結びついていることが分かりました。

弟の話に戻りますが、税金という制度があったからこそ、命が救われた、と言っても過言ではないと思います。あんなにも辛く、厳しい治療を弟は無事、乗り越えることができ、今では毎日明るく、元気に過ごすことができます。弟の命だけでなく、普段の生活も税金によって支えられていることが分かりました。

将来社会人になった時は、しっかりと税金を納め、今税金を納めてくれている社会人の方々へ恩返しをしたいです。